

古写真や絵画で見る 仙台歴史散策

仙台的正月飾り

仙台市博物館 学芸普及室 倉橋真紀

第13回

仙台的正月飾りー玉紙ー

正月飾りにはいろいろなものがありますが、現在もよく見られる「仙台的正月飾り」といえるものの一つに、神棚や仏壇に飾られる玉紙たまがみがあります。宝珠ほうしゅやエビといったおめでたい柄が白い和紙に描かれた玉紙は、年末になると一般の商店でも販売されています。しかし、実は全国的に広く見られるものはありません。これらは江戸時代に仙台藩領だった地域（宮城県と岩手県、福島県の一部を含む）に見られる独特なもののようです。

仙台的正月飾りー門松ー

一方で、今はほとんど見られなくなっ



根白石の正月飾り
玉紙が下げられている
昭和53年（1978） 仙台市博物館蔵



根白石の旧家で飾られる門松 家の門をそのまま利用して門松としている。中央に独特な形のしめ飾りが見える
昭和52年 仙台市博物館蔵



『天明飢饉図集（写本）』（部分）
天明の飢饉のころ（1782～1787）の佐沼の正月のようすを描いたもの。右上に描かれているのが門松
仙台市博物館蔵

た「仙台的正月飾り」に門松があります。門松は現在も正月飾りの代表的なものとして、ビルや商店の前に飾られています。よく目にする斜めに切った竹が松から伸び、下部が藁わらや板で括られた形のものが全国的に普及するようになったのは、実は明治時代後半になってからなのです。

江戸時代の仙台藩領内でよく見られた門松は、栗の丸太を二本立て、上部を竹でつないで門の形に高く組み上げたものに、三段に枝分かれた三階松さんがいそうや竹を括りつけたものでした。

それは、いくつか残されている仙台城や仙台藩士の家に飾られた門松の記録からも確認できます。また、佐沼（登米市）の正月風景を描いたとされる絵に、変わった形の飾りが見えますが、こうした記録と合わせると門松である

ことがわかるのです。

仙台的伝統的な門松復元

第二次世界大戦中、大きな門松は贅ぜい沢とされ、さらに昭和三〇年代には松を大量に伐採することが森林破壊につながると門松反対運動が起きたこともあり、この伝統的な門松は姿を消していきました。このままでは、門松の中央に飾られる独特な形のしめ飾りの作製方法などがわからなくなってしまうおそれがあります。

そこで、この門松の作製方法を伝え、江戸時代の仙台的正月の風景を知ってもらうため、根白石で現在も伝統的な門松作りを受け継ぐ旧家の協力を得て、平成二四年度から仙台市内の仙台歴史ミュージアムネットワーク（歴ネット）に所属する施設の職員が集まってしめ飾りを作り、復元した門松の展示を行う活動を続けています。

今年も歴ネットに所属する七つの施設で展示しますので、お近くの施設でこの門松を見上げてみてください。

歴ネットイベント 仙台的伝統門松展示

江戸時代には仙台城や仙台城下でも飾られた、仙台に伝わる伝統的な門松を市内の歴ネット参加館で展示しています。ぜひご覧ください。

令和元年度の門松展示施設

瑞鳳殿	12月16日(月)～1月14日(火)
史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設	12月17日(火)～1月16日(木)
地底の森ミュージアム(仙台市富沢遺跡保存館)	12月17日(火)～1月22日(水)
仙台市縄文の森広場	1月 5日(日)～1月22日(水)
仙台市歴史民俗資料館	1月 5日(日)～2月 2日(日)
仙台市戦災復興記念館	1月 4日(土)～2月 9日(日)
仙台文学館	12月25日(水)～2月11日(火・祝)

「歴ネット」は仙台市内の9つの歴史・文化系の施設で結成され、様々な活動を行っています。歴ネット事務局：仙台市博物館※休館日等は、各施設にお問合わせ下さい。



(左)地底の森ミュージアム、(右)瑞鳳殿 ※写真は昨年度のものです。

《休館のお知らせ》

仙台市博物館は館内設備改修工事のため、下記の期間を休館させていただきます。
12月28日(土)～令和2年3月31日(火)

仙台市博物館 TEL:022-225-3074 (休館中の電話受付時間 平日9:00～16:45)

SENDAI CITY MUSEUM 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) ▶ツイッター @sendai_shihaku ▶博物館HP

仙台市博物館

検索